

FURUTECH

Review

Audio Accessory

2010 WINTER 139 - Japan



ADL
GT40 USB DAC
¥41,790

USBに加えフォノイコ機能も内蔵した
新ブランドの総合DAC/プリアンプ

Test by
石原 俊
Shun Ishihara

小型機として驚くべき 解像度の高い音調を再現

フルテックがプロデュースするアルファ・デザイン・ラボというブランドから、非常に便利でキュートなオーディオ・インターフェースがリリースされた。本機はアナログライン・プリアンプとして、ヘッドホン・アンプとして、MM/MC対応フォノイコライザーつきプリアンプとして、さらにはUSB・DACとして機能するばかりか、アナログレコードやほかのライン入力、USBケーブルを介してパソコンに入力することもできる、多機能型プリアンプである。

筐体のサイズは最小クラスのUSB DACに等しい。電源は内蔵しておらず、いわゆる電源アダプターから給電する。このサイズの機器にはUSBケーブルから給電するタイプのモデルがあるが、多機能な本機では安定した電源供給は欠かせないであろう。入力はアナログ一系統で、ライン入力とフォノ入力の選択はフロントパネル左側上のスイッチで行う。フォノ入力を選択した場合、MCとMMの選択はリアパネルのスイッチで行う。デジタル入力はUSBのみだが、この端子はADコンバーターの出力としても機能する。

まずはライン・プリアンプとして使用したの

ウソと思うほど音が良い。もちろんレファレンス機と同じようなクオリティは望めないのだが、ハッキリ、タッキリ、眼元パツパツの美人風のイケているサウンドだ。ジャズはいわゆるグルーブ感があつてノリが良い。ボーカルは音像がやや大きめだが、小型スピーカーを使用するのならば、このくらいの方がいいだろう。クラシックは20年程前のハイエンド機と似ていて、はつきりしていて分かりやすい解像度が得られる。



ライン入力はスイッチによりLINE、MM、MCの切り換えが可能。多彩な機器との接続に対応する

- 型式:USB & アナログ入出力対応オーディオ
- 入力:USB(B端子)×1、アナログ(RCA)×1(アナログ入力はスライドスイッチによりMC-MM-LINEの3入力に切り換え可能)
- サンプリング:96kHz/24bit(最大)
- 周波数特性:20Hz~20kHz ●S/N:-90dB ●サイズ:150W×57H×111Dmm ●質量:約785g ●取り扱いたいフルテック様

本機の注目ポイント

▶ 本機とパソコンがあれば、あとはパワーアンプとスピーカーを手に入れるだけで、本格的なオーディオを始めることができる。スピーカーはCPの高い小型機で十分。パワーアンプもエントリークラスのモデルで十分。初任給でも良い音のするシステムが組めそうではないか!